

区民と共に活力ある未来を築く 平成21年度予算

4月からの1年間に区が行う事業とその経費を定めた21年度の予算が決まりました。

今号では、新年度予算の内容について紹介します。
問 財政課 ☎(5662)6148

予算総額

3,071億円

一般会計

2,013億円



平成21年度
予算編成にあたって

江戸川区長 三田正見

世界不況による経済の急速な低迷は本区にも様々な影響を与え、区内の産業界は大きなダメージを受けています。一方、区歳入の多くを占める財政調整交付金は大幅な減収となり、人口増加や高齢化の進行に伴い行政需要が増大する中で、今後の財政運営は相当な困難が予想されます。

この未曾有の危機において、区民生活の安全・安心を守るために、地域のみなさんと力を合わせて最善の区政運営を行い、危機を克服する施策を積極的に打ち出していきます。

21年度の予算編成は、これまで不断の財政努力によって積み立ててきた基金の活用などにより、急を要する中小企業の経営基盤強化のための支援や、まちづくり・学校改築などの重要課題にも的確に対応するものです。

これからも、将来の世代に重い負担をかけることがないように、長期的な視点に立って安定的な財政基盤を整え、より一層の健全財政を堅持していきます。そして、区民のみなさんと共に、活力ある未来に向けて力強く歩んでいきます。



■次の世代のために積極的な施策で危機を克服し、強固な財政基盤を確立！

平成21年度 重点施策

*未来を担う人づくり

児童書専門の図書館を持ち、科学・郷土史などの総合的な学びの施設である「(仮称)子ども未来館」の建設や学校LANの整備など、子どもたちの学習・教育環境を更に向上させていきます。また、築50年が経過する小・中学校の改築を計画的に行うための準備を進めます。

*学びと協働による区民文化づくり

平井地区に地域文化活動の拠点となるコミュニティ施設を、来年4月の開設に向けて建設します。併せて、男女共同参画の推進やジュニアオーケストラの育成支援などの取り組みを進め、創造性豊かな区民文化をつくっていきます。

*いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

福祉を支える地域力を活かしながら、住宅用火災警報器の設置助成や障害者施設「さくらの家」の開設などにより、熟年者や障害者が、安全・安心でいきいきと生活できる環境を整えます。

*区民参加による環境づくり

えどがわエコセンターを中心とした「もったいない運動」を積極的に推進し、地球環境問題に全区を挙げて取り組み、エコタウンえどがわの実現を目指します。

*活力を創造する産業づくり

中小企業の経営基盤強化のため、あっせん融資の信用保証料全額補助と利子補給を継続します。また、産学官連携の拠点となる「スーパー連携大学院」の設立を支援するなど、地域の活力を支える産業の活性化に取り組んでいきます。

*区民の暮らしを力よく支えるまちづくり

重要な課題であるJR小岩駅周辺のまちづくりを進めると共に、住宅の耐震化促進や、駅前駐輪場の増設、環七シャトルバス走行環境の向上などに取り組み、災害に強く、更に魅力あるまちをつくっていきます。

*区民本位で効率的な区政運営

区民サービスの向上に努めながら、区施設の管理を指定管理者へ移行するなど民間活力を更に活用し、より一層の健全財政を堅持します。

新年度予算の主な新規・拡充事業→2・3面
数字でみる平成21年度予算→4面

人づくりと区民生活の安全・安心を支える主な新規・拡充事業



未来を担う人づくり

子育て支援の充実

- ◎多様な保育サービスの提供（拡） 87億8,498万円
保育サービスの充実を図るため、認可保育園の新設や定員拡大、認証保育所の設置、一時保育事業などを行います。
- ◎次世代育成支援対策行動計画の策定（新） 1,298万円
子どもたちの健全育成と子育てしやすい社会づくりを進めるため、地域行動計画（後期）を策定します。

21世紀にふさわしい学校教育の推進

- ◎学校の改築（新） 1億1,544万円
学校施設の安全性を確保し、子どもたちの学習環境の充実を図るため、松江・船堀・第二葛西小学校の改築準備を進めています。
- ◎学校情報化の推進（拡） 10億5,283万円
小・中学校の全教職員へのパソコン配備に伴い、事務効率化のための校務システムを導入します。21年度はモデル校（21校）で、22年度からは全校で実施します。また、中学校の教育用パソコンを充実し、情報機器を活用した、分かりやすく質の高い授業を目指します。
- ◎海苔プロジェクト(江戸川区を再発見する授業)の実施(新) 124万円
かつて区内で盛んに行われていた「海苔づくり」の体験学習を、モデル小学校（3校）で実施します。地域の方と共にふさぐ江戸川を再発見してもらうことで、子どもたちの郷土を愛する心を育みます。
- ◎東京都スポーツ教育推進校（新） 500万円
学習指導要領の改訂に伴い、児童・生徒の体力向上を図ると共に、国民体育大会の開催やオリンピック開催地の誘致に向け、小・中学校（10校）でのスポーツ教育を推進していきます。
- ◎外国人英語科指導助手（拡） 8,589万円
小学校における23年度からの外国語活動の必修化、中学校における24年度からの英語授業時間数の増加に対応するため、外国人英語科指導助手を増員します。
- ◎理科支援員の派遣（拡） 868万円
理科への興味・関心を促すため、小学5・6年生の理科の授業に支援員を派遣し、授業における観察・実験を充実していきます。
- ◎学校給食費の保護者負担軽減（拡） 5億4,631万円
21年度からの区立小・中学校における夏休みの短縮に伴い、給食の回数が増加します。これによる給食費の増額に対し、保護者負担の軽減を図るため、区の補助を増額します。

学びと協働による区民文化づくり

- ◎平地地区区民施設の建設(拡) 8億6,813万円
地域文化活動の拠点として、幅広い世代の方が利用できる区内30番目の地域施設です。22年4月の開設を目指し、建設を進めます。
- ◎ボランティア情報誌の発行（新） 139万円
様々な分野のボランティア情報を集約した情報誌を発行し、ボランティア活動に参加するきっかけづくりを進めます。
- ◎江戸川区青少年少女オーケストラの育成（新） 200万円
音楽文化の醸成と青少年の健全育成を図るため、区内の音楽団体が



■待望の平地地区区民施設

- 設立する「江戸川区青少年少女オーケストラ」の活動費を一部助成し、その育成支援を行います。

いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり

みなさんの健康づくりを支援

- ◎妊産婦保健指導（拡） 8億6,563万円
妊婦の方が安心して出産できるよう、妊婦健康診査の公費負担回数を14回に拡充しています。また、出産のために里帰りをし、都内の契約医療機関で妊婦健康診査を受けられない方が、里帰り先の医療機関で受けた健診料の一部助成回数も14回に拡充しています。超音波検査は年齢制限を廃止し、すべての方が1回受けられるようになります。
- ◎生活習慣指導（拡） 308万円
40歳未満の方の区民健診を受診した方で、メタボリックシンドロームの疑いがある方を対象に、「健康応援セミナー」を開催します。
- ◎精神保健相談（拡） 2,517万円
脳卒中や交通事故などによる後遺症に悩む、高次脳機能障害者への支援を充実します。また、自殺予防に関する正しい理解を普及・啓発するため、自殺防止連絡協議会を設置します。



■新訓練インフルエンザ想定

- ◎新型インフルエンザ対策の充実（拡） 2,549万円
新型インフルエンザの発生・流行に備え、対応マニュアルや区内医療体制の整備を進めます。薬品や感染防御資器材の配備を行うほか、初期から大流行期までを想定した訓練を実施します。

- ◎スポーツ施設の建設（新） 3億3,743万円
22年3月の開設を目指し、総合体育館の隣地に射場の距離が50mある本格的なアーチェリー場を建設します。
- ◎水辺のスポーツガーデンの運営（新） 9,605万円
東篠崎二丁目4番の広大な旧江戸川河川敷に、多目的に利用できるレクリエーション活動の拠点として開設します。都内最大の規模を誇るローラーコートをはじめ、少年野球場やテニスコートなどがあります。



■4月開業のスポーツガーデンの水辺の

熟年者や障害のある方などの生活を支援

- ◎住宅用火災警報器の設置助成（新） 1億9,656万円
22年4月からの住宅用火災警報器設置義務化への対応として、住民税非課税世帯で、60歳以上の熟年者のみの世帯や各種障害者手帳所持者のみの世帯、生活保護受給世帯などを対象に、設置助成を行います。
- ◎さくらの家の開設（新） 2億748万円
小松川三丁目に、18歳以上の知的障害者を対象とした新たな障害者施設「さくらの家」を開設します。利用者の心身の発達を促し、基本的な生活習慣や社会生活能力を身に付けるための支援を行います。
- ◎福祉作業所の整備・運営（拡） 1億1,237万円
旧はのぼの作業所を福祉作業所分室として改修し、10月からは自主生産事業（豆乳関連商品の製造・販売）を開始します。
- ◎介護保険料の見直しや低所得者対策（拡） 1億8,247万円
第4期介護保険事業計画において介護保険料の見直しを行い、保険

- 料の段階区分を7段階から8段階に細分化し、負担の軽減を図ります。また、低所得者に対して、介護保険料の減額や介護サービス利用料などの減額を実施します。
- ◎介護資格者の復帰支援（新） 3,371万円
介護サービス事業所への再就職を希望する区民を対象に講習会を行い、復職を支援します。
- ◎まちのバリアフリー化の促進（拡） 3億4,883万円
すべての人が快適で歩きやすい道づくりを進めるため、ユニバーサルデザインに基づいた歩道の改良や、音声誘導装置の設置を行います。また、京成小岩駅へのエレベーター設置を支援します。

区民参加による環境づくり

- ◎えどがわエコセンターの運営支援（拡） 4,681万円
地球温暖化対策のための身近な取り組みとして「もったいない運動えどがわ」を推進します。「緑のカーテン（壁面緑化）」や使用済み食用油からディーゼル燃料を製造する「えどがわ油田開発プロジェクト」などの実践的な取り組みを進めます。



■壁面緑化に取り組み江戸川小学校

活力を創造する産業づくり

- ◎スーパー連携大学院設立支援（新） 1,800万円
広い分野で活躍する有能な博士人材の育成や、全国の大学と産業界による共同研究のネットワーク化を行う産学官連携の拠点として、スーパー連携大学院の設立を支援します。
- ◎中小企業経営基盤強化支援（新） 2,400万円
世界的な不況により大きな打撃を受けた中小企業の経営基盤を強化するため、地域工場団体の各種事業に要する経費を助成します。
- ◎モデル商店街支援事業（拡） 1,000万円
特長ある商店街づくりを進めるため、ほかの商店街のモデルとなる様々な事業を支援し、その拡大を図ります。
- ◎企業調査の実施（新） 4,771万円
区内事業所の業種・業務内容・従業員数などの基本データを調査し、今後の産業振興施策に活かしていきます。
- ◎ファーマーズクラブ（東葛西）の運営（新） 374万円
農地の保全と農業の振興を図るため、農家による直接指導を受けることができ、自ら安全な野菜を栽培することができる新しいタイプの区民農園を開設し、その運営を支援します。

区民の暮らしを力づくよく支えるまちづくり

地域の魅力を高めるまちづくり

- ◎JR小岩駅周辺まちづくり(拡) 1億795万円
古くから親しまれてきた小岩駅周辺における、「安全で100年栄えるまち小岩」のまちづくりを進めるため、商業調査などを行います。地域の方々と協力しながら、災害に強く、魅力的なまちづくりを進めています。



■JR小岩駅南口の整備イメージ(七丁目地区)

- ◎密集住宅市街地整備促進事業（拡） 13億23万円
木造住宅が密集した地域における住環境の質を高めるため、住宅の共同建て替えや道路・公園などの整備を進めています。
- ◎環七シャトルバスの充実（拡） 1億525万円
南北交通の新たな手段として19年度から試験運行を開始した環七シャトルバスが、4月から本格運行になります。21年度は、環境に配慮した専用車両の導入や停留所整備の補助、バスレーンの検討などを行い、走行環境の更なる向上に努めます。
- ◎総合自転車対策（拡） 27億8,442万円
駅前の駐輪環境の向上を目指し、平井駅南口と一之江駅南口には地下機械式の、西葛西駅東側と瑞江駅北側にはそれぞれ地上二層式の駐輪場を整備します。また、レンタサイクルの試験導入（葛西地区の複数駅で10月ごろから実施予定）を行い、利便性などの検証を進めていきます。



■大好評の環七シャトルバス(シャトルバス7人乗車専用)

- ◎新川の賑わいづくり・地域活性化に向けた検討など（新） 546万円
「新川千本桜の会」を中心に、新川周辺の商店会などと賑わい・名物づくりを検討し、活性化に向けた取り組みを進めます。
- ◎新川の修景整備（拡） 13億6,912万円
江戸時代に「塩の道」として栄えた新川の歴史的背景を活かし、千本の桜を植え、新たな名所の誕生に向けた取り組みを進めます。また、耐震護岸の整備を進めると共に、人道橋の設置なども行います。



■新川千本桜の完成イメージ

- ◎公園などの整備（拡） 14億4,807万円
区内7か所に公園・児童遊園を新設するほか、くつろぎの家公園に江戸川清掃工場の余熱を利用した足湯を整備します。

安全で災害に強いまちづくり

- ◎住宅などの耐震化促進（拡） 3億1,155万円
昭和56年5月以前に着工された、戸建て住宅や分譲マンションを対象とした耐震診断・工事などの助成を引き続き行います。併せて、災害時に緊急輸送道路となる沿道の建築物や私立幼稚園・保育園などの耐震助成も継続します。
- ◎防災センター機能の充実（拡） 639万円
災害発生時に対策本部となる防災センター（区役所本庁舎5階）の免震床工事や情報機器の拡充を行い、機能の充実に努めます。
- ◎水防対策（拡） 1億51万円
大規模な水害に備え、東部事務所管内の倉庫（椿倉庫）を水防倉庫として改築し、緊急時の災害活動拠点として整備します。また、小・中学校や堤防などに設置している潮位表示板を、高速道路の橋脚や消防署庁舎にも増設し、水害に対する備えを更に啓発していきます。

区民本位で効率的な区政運営

- ◎区の情報処理体制の再整備（拡） 33億1,460万円
区民サービスの向上と事務処理の効率化・高度化を目指した電子区役所を実現するため、新情報処理体制の構築を進めています。
- ◎特別区民税の収入確保の強化（拡） 2億4,247万円
特別区民税納税の利便性と収納率向上のため、公的年金からの特別徴収制度（10月から）や普通徴収分のコンビニエンスストアでの収納（21年度課税分から）を開始します。

※金額は、原則として表示単位未満を四捨五入しています。

予算や財政状況の詳細な内容は、区ホームページでご覧いただけます。「行政情報」の項目から「行財政」に進む = <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/gyosei/zaisei/>



広報

えどがわ

2009年
平成21年 4/1

4

予算特集号

■発行/江戸川区 ■編集/広報課 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 ☎(3652)1151(代表) FAX(3652)1109 ホームページ <http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>

数字でみる 平成21年度予算

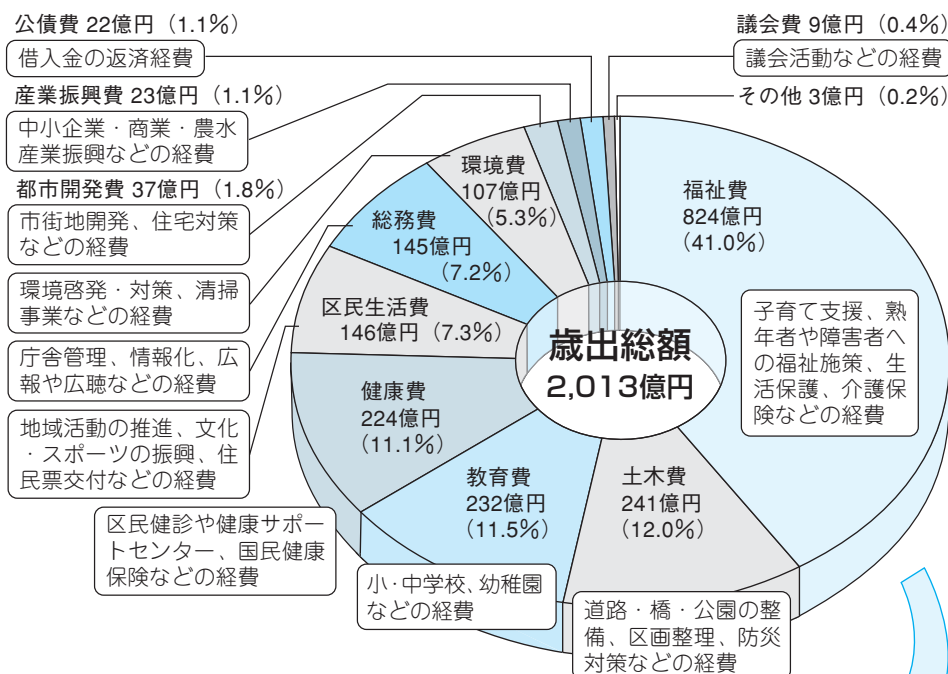
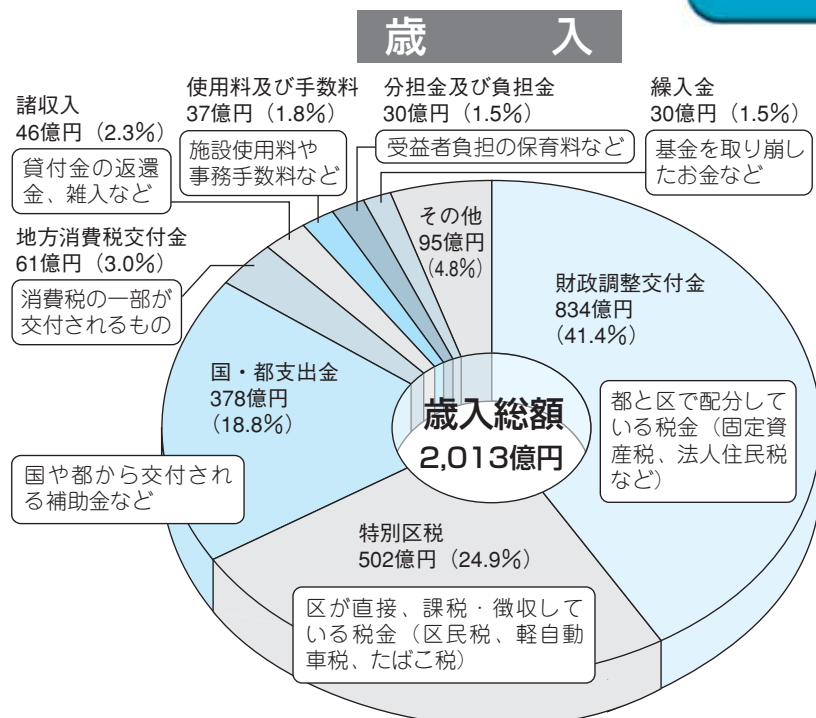
区は、区民のみなさんの税金や国・都からの交付金などを財源として、区民生活に直結する様々な施策を行っています。限られた貴重な財源を区民サービス向上のため有効かつ適切に活用し、安全・安心の区政を進めます。

問 財政課 ☎(5662)6148

会計別予算の規模

区 分	21 年 度	20 年 度	増減率
一 般 会 計	2,012億7,781万3千円	1,977億2,489万3千円	1.8%
国民健康保険事業特別会計	719億 130万6千円	690億6,109万1千円	4.1%
老人保健医療特別会計	1億6,756万8千円	42億9,855万6千円	△96.1%
介護保険事業特別会計	257億9,943万7千円	251億 784万7千円	2.8%
後期高齢者医療特別会計	79億5,039万9千円	77億7,028万4千円	2.3%
合 計	3,070億9,652万3千円	3,039億6,267万1千円	1.0%

一般会計の内訳



※金額は、原則として表示単位未満を四捨五入しています。構成比は千円単位での比率です。

歳出の性質別の内訳

扶助費 562億円 (27.9%)	人件費 396億円 (19.7%)	物件費 346億円 (17.2%)	投資的経費 257億円 (12.8%)	繰出金 191億円 (9.5%)	補助費等 156億円 (7.7%)	その他 105億円 (5.2%)
生活保護費、児童手当、障害者福祉手当などの経費	職員の給与・退職金、委員の報酬などの経費	物品購入、仕事の委託などの経費	道路・公園・施設の整備や用地取得などの経費	国民健康保険、介護保険など特別会計を支える経費	幼稚園保育料や学校給食費の補助、融資の利子補給などの経費	維持補修費63億円、公債費22億円ほか



平成21年度一般会計予算額を1万円に換算しました

熟年者福祉 障害者福祉などに 2,286円 	子育て支援などに 1,810円 	道路・公園の整備 まちづくり、防災対策などに 1,380円 	学校教育などに 1,152円 	健康施策 国民健康保険事業などに 1,114円
地域活動の推進 文化・スポーツの振興などに 724円 	環境啓発・対策 清掃事業などに 531円 	産業の振興などに 112円 	区の借入金の返済に 111円 	その他(区政運営・議会活動) 780円

平成21年度予算編成にあたって➡1面／新年度予算の主な新規・拡充事業➡2・3面